

化学物質安全データシート

製造者情報 会社名 ダイアプラスフィルム株式会社
住所 愛知県名古屋市中村区岩塚町大池2
担当部門 管理部 品質保証グループ（養老工場）
電話番号 (0584)32-3577 : F A X(0584)34-3641
緊急連絡先 同上
電話番号 同上

作成・改定 平成26年 4月 1日

製品名(化学名・商品名等)

DRシール剤

組成及び成分情報 単位物質・混合物の区別 : 混合物
化学名 : 塩ビ系ポリマー樹脂溶液
成分および含有量 : 危険有害物質を対象（下記は基準値）

成分名	含有量 (%)	CAS NO.
テトラヒドロフラン	55~60	109-99-9
シクロヘキサノン	10~15	108-94-1
炭酸カルシウム	5~10	471-34-1
メタクリル酸メチルアクリル	~ 1	25852-37-3
塩ビ系ポリマー樹脂	~20	

危険有害性の要約 分類の名称 : 引火性液体・急性毒性物質
危険有害性コメント : 非常に燃えやすい液体である
有機溶剤中毒を起こす恐れがある

応急処置

- 目に入った場合 : 直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
出来るだけ早く医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 付着物を布で素早く拭き取る。
大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分洗い落とす。
溶剤、シンナーなどは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。
- 吸入した場合 : 蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には直ちに空気の新鮮な場所に移し暖かく安静にする。呼吸が不規則または停止した時は人工呼吸を行う。直ちに医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合には、水でよく口を洗い、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

火災時の措置 消火方法 : 水を消火に用いてはならない。可燃性の物を周囲から速やかに取り除く。耐熱着衣着用
消火剤 : 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

漏出時の措置

付近の着火源、高温体及び可燃物を素早く取り除く。着火した場合に備えて、粉末又は泡消火器を準備する。
作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
少量の流出の場合は砂、土に吸収させて回収する。多量の流出には盛り土で囲って流出を防止し回収する。

取り扱い及び保管上の注意

換気の良い場所で取り扱う。また、周囲で火気、火花、高温物の使用を禁止する。
静電気対策のため装置等は接置き、電気機器類は防爆型（安全増）を使用する。工具は火花防止型の物を使用する。
容器はその都度密封する。
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らぬよう適切な保護具を使用する。
日光の直射を避け、火気、熱源から遠ざけて屋内で保管する。また、通風の良い所で保管する。

暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱設備は防爆型を使用し、排気設備を付けて蒸気が滞留しないようにする。
液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを取り付けるように設備する。
取扱場所の近くには高温、発火源となるものが置けないような設備とする。
タンク内の密封場所で作業するときは、密封場所が特に底部まで十分に換気出来るような装置を設ける。
屋内作業の時、自動塗装機等を使用し、作業者が直接暴露を受けない設備にするか、局所排気により暴露を避けられる設備にする。

保護具 : 目の保護 : 保護メガネを着用すること。
皮膚の保護 : 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を使用する。
呼吸系の保護 : 有機ガス用防毒マスクを着用する。密封された場所では、送気マスクを着用する。

物理及び化学的性質	外観等	: 液体
	色	: 各色
	臭気	: 刺激性
	沸点 (°C)	: 97°C~
	融点 (°C)	: 約160°C (軟化温度)
	蒸気圧	: 揮発性有り
	密度 (比重)	: 1.0g/ml

安定性及び反応性	引火点	: -5.2°C
	発火点	: 402°C
	爆発限界	: (下限) 1.8 (vol) % (上限) 9.9 (vol) %
	安定性・反応性	: 通常の条件では安定である。

接触により危険性のある物質：アミン類と反応して、著しく発熱することがある。

燃焼などによる有害性ガスの発生：CO等が発生する。

有害性情報

組成物質の有害性及び暴露濃度基準(mg/m ³)				
物質名	管理濃度	ACGIH(TLV)	IARC	その他の有害性
テトラヒドロフラン	200 ppm	590mg/m ³	—	LD50: 1.65mg/kg
シクロヘキサノン	25 ppm	100mg/m ³	—	LD50: 1.62g/kg
				※LD50: マウス、経口
組成物質に関するその他の有害性情報				
☆テトラヒドロフランは目に対し刺激性が高いので注意すること。				
製品に関する有害性情報				
☆ 製品としての安全性試験は行っていない。				

環境影響情報 漏洩時、廃棄等の際には、環境に影響を与える恐れがあるので取扱に注意する。特に製品や洗浄水が地面、排水溝に直接流れないように対処すること。

廃棄上の注意

廃塗料、塗料かす、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理を委託する。

排水処理、焼却等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従って処理するか、処理を委託する。

容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。

空容器は内容物を除去した後に廃棄物として処理する。

輸送上の注意

共通事項：取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従うこと。

陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの法令の定めるところに従うこと。

海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送：航空法に定めるところに従うこと。

国連番号：1 2 6 3

適用法令

労働安全衛生法：危険物（引火性） 有機則 第二種有機溶剤

消防法：危険物 第四類 第一石油類（非水性）

化学物質管理促進法（PRTR 法）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

その他の情報

この情報は新しい情報により改訂することがあります。

ここに記載した内容は当社の最新の知見に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。すべての化学品は未知の有害性がありうるため、取り扱いには細心の注意が必要です。

引用文献

（社）日本塗装工業会編「原材料物質データベース」

溶剤ポケットブック

危険防災救急便覧

国際化学物質安全カード(ICSC)